

新発田台輪 300 周年—城下町の誇り、未来へ引き継ぐ伝統

2026 年、新発田市が誇る伝統文化「新発田台輪」が運行 300 周年という大きな節目を迎えました。新発田台輪の歴史は享保 11 年（1726 年）、新発田藩 6 代藩主溝口直治が、諏訪神社の祭礼をより盛大にするため、飾り人形を載せた屋台の運行を奨励したことに始まります。以来 300 年にわたり、市民の手によって守り継がれてきました。

新発田台輪は、毎年開催される「城下町新発田まつり」の主役です。豪華な彫刻や提灯で飾られた台輪が城下町を練り歩き、勇壮な「あおり」と呼ばれる独特な動きや木遣りの響きが祭りを盛り上げます。その迫力ある姿は、多くの市民にとって故郷の原風景であり、「台輪の音を聞かないと秋が来ない」と語られるほど生活に深く根付いています。

300 年という歴史の中で、新発田台輪は戦乱や災害、社会の変化を乗り越え、一度もその歩みを止めることなく受け継がれてきました。それは地域の人々の情熱と努力の結晶であり、世代を超えて引き継がれる新発田の宝です。



天皇陛下御即位を祝う国民祭典に新潟県を代表して参加
(2019 年、皇居前)

新発田台輪 300 周年は、単なる記念の年ではありません。先人たちが守り続けてきた伝統の価値を再確認し、未来へ引き継ぐ決意を新たにしている節目です。城下町新発田の誇りである台輪は、これからも人々の心を結び、地域の歴史と文化を語り継いでいくことでしょう。

新発田市では、300 年の熱狂を次世代につなげるため、寄付金を募っています。集まった寄付金は台輪の修繕費など、文化の保存・継承のために充てられます。温かいご支援をお願いいたします。

(参考：新発田市公式サイト、他)

結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい

〒957-0057 新発田市御幸町 1 丁目 1 の 1

刺土 志 家

電話 (0254) 22-2102 (代)
FAX (0254) 26-3430

ごまんじゅう ◆ くるみがんじき



手づくりの白い肌に風味豊かなごまの香りの「ごまんじゅう」。
もち、ごま、こしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。
「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。
加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋

〒957-0053 新発田市中央町 2-1-17
TEL. (0254) 22-3289 FAX. (0254) 22-3900
〈営〉9:00～18:30 〈休〉元日
※売り切れ次第、閉店 17:00 とさせていただきます。

国際認証取得圃場で栽培された「越後官谷産」の安心・安全なお米を生産・販売いたします



農地所有適格法人

有限会社 アグリ・システム

〒959-2517 新潟県新発田市麓 691 番地

TEL: 0254-29-2500 FAX: 0254-29-2131

旧新発田商工高校 東京同窓会・懇親会を開催

旧新発田商工高校（現新発田商業高校・現新発田南高校）の令和8年度東京同窓会総会及び懇親会を、東天紅上野本店にて6月6日（土）に開催しました。

当日は来賓として、商業高校からは山中政一教頭、星野忠太同窓会長、南高校からは星野達哉校長、長谷川寿一同窓会長、若月学同副会長、小池金一同副会長、小柳徳之常任理事、寒河江美和事務局員、佐藤久同局員、野口謙一同局員の参加をいただき、総数30名が出席しました。

東京同窓会の岡田清隆会長（昭和47年卒・建築）の挨拶に続き、来賓各位より学校の近況報告やクラブ活動報告、さらには最近の熊出没状況まで、多様な話題が披露されました。

その後、小泉雄嗣さん（27年卒・商業）の乾杯の発声で、懇親会がスタート。アトラクションでは、歌

手の澤敬子さん（月岡出身）による歌謡ショー、会員有志によるカラオケ大会、抽選会などを行い、会は最高潮に達しました。

最後には恒例の第二応援歌を、秋葉要さん（48年卒・商業）のリードにより全員で斉唱。また来年の再開を誓い、中川清さん（29年卒・商業）の発声で、三本で締め括りました。2時間半の懇親会は、盛会のうちにお開きとなりました。

この同窓会でも東京新潟県人会と城下町新発田会への入会を勧めました。多数の入会をいただければ幸いです。

城下町新発田会・幹事長 松川吉男
（43年卒・商業）



旧新発田商工高校の歴史

新発田商工高校のルーツは、1917（大正6）年創立の「新発田商業学校」にあります。戦時中には非常措置により「工業学校」となり、戦後は商業科と工業科を併せ持つ「商工高校」として地域産業を支える人材を育成しました。

そして、1983（昭和58）年には商業部門と工業部門が分離され、新発田商業高校と新発田南高校へ発展しました。

100年以上にわたり、下越地域の産業教育を支え、多くの人材を輩出してきた伝統校であります。



江戸屋餅菓子舗
店：新潟県新発田市中央町3-8-9
Tel 0254-22-3942
定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
工場：新潟県北蒲原郡聖籠町蓮湯 3397-1
Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356



JA北新潟 農産物直売所
JA北新潟でおいしいお米は
JA北新潟 オンラインショップ 検索
営業時間：9:00~18:00 定休日：火曜日
冬季営業時間（12月~3月）：10:00~17:30
http://shop.ja-kitaechigo.jp/
マスクとキャスター「きたつち」



王紋酒造
本社：新発田市本町 1-7-5
TEL: 0254-22-2350 / FAX 0254-23-6233

総会に初参加しました



見田賢一さん

(新発田市市民まちづくり支援課課長)
(旧紫雲寺町河岸場出身・在住)

先日城下町新発田会の総会に伺い、皆さんの新発田への思いをお聞きし、身近にありすぎて忘れていた新発田の魅力を思い出しました。自然豊かで四季折々に魅力ある皆さんの故郷新発田へ、機会があれば是非お越しください。

新入会員紹介



磯部栄治さん

(曾根出身)

この度ご縁を賜り入会いたしました。長く故郷を離れておりますが、望郷の念は今も変わりません。皆さまと交流を深められますことを心より願っております。よろしくお願い致します。

会員を募集中

城下町新発田会では、随時新規入会員を募集しています。新発田市にゆかりのある方にお声掛けをお願いいたします。

年会費：3,000円
郵便為替：00130 - 0 - 353560
加入者名：城下町新発田会

「しばたあやめまつり」開催

新発田市の初夏を彩る「しばたあやめまつり」が6月17日～28日に開催されました。

会場である、日本四大あやめ園の一つ「五十公野公園あやめ園」では、今年も約300品種・60万本のあやめや花菖蒲、カキツバタが咲き誇り、訪れる人の目を楽しませました。園内には色とりどりの花が広がり、散策しながら季節の美しさを満喫できます。

期間中は各種イベントも行われ、多くの観光客や市民でにぎわいました。初夏ならではの風情を味わえる新発田の代表的な花の祭典として親しまれています。



編集後記

お城のない城下町

新潟県人会で隣り合わせた長岡の方。「長岡も城下町ですが、長岡にはお城がないんです」と寂しそう。長岡城は「三階隅櫓」をシンボルとした城でしたが、戊辰戦争の激戦で焼失し、明治政府の廃城政策もあり、再建されずに姿を消しました。跡地の上に現在の長岡市の中心部が発展（JR長岡駅周辺など）したため、城の遺構もほとんど残っていないとのことでした。

改めて新発田城の存在の「大きさ」「ありがたさ」を感じた次第です。


くだもの生産直売
ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工
高橋農園
〒959-2506
新潟県新発田市横山149番地
直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp
果物の地方発送
西洋梨レクチャエの贈答

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(13)第5435号
三光建設株式会社
代表取締役 松川 吉男
TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20

大切な方への
贈り物にはお米を！

産地直送でお米・新潟県産コシヒカリの
お取り寄せならおの米店へ
おの米店
美味しいお米を販売
0254-25-2434
090-5197-8067
8:00～21:00